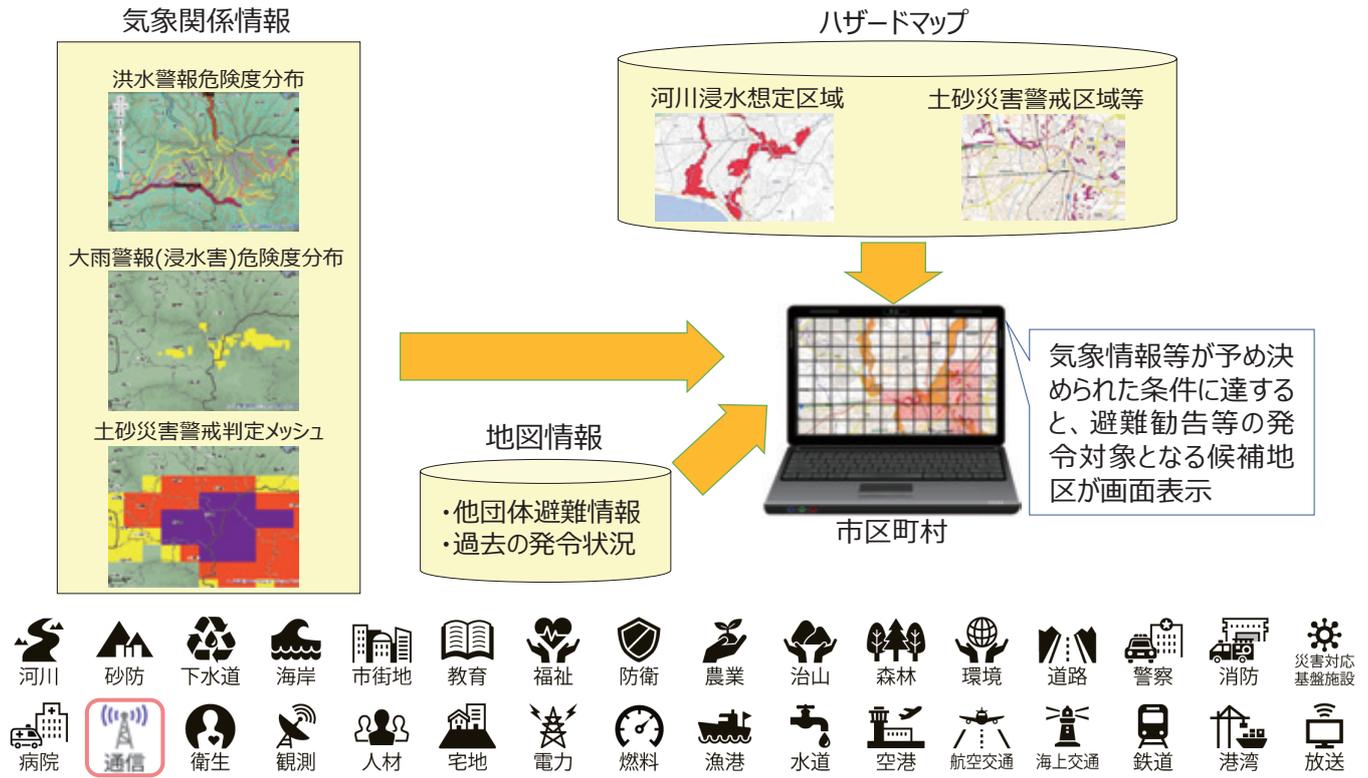


災害対応支援システムの標準仕様策定による避難行動の推進

＜Lアラートを活用した災害対応支援システムイメージ図＞



対策名： No.83 Lアラートを活用した災害対応支援システム構築に関する緊急対策

事業名： Lアラートを活用した災害対応支援システム構築に関する実証

- ポイント**
- 避難情報の発令からLアラート（災害情報共有システム）への情報発信までを支援するシステムについて実証実験を行い、標準仕様を策定
 - 住民の避難行動を促す避難指示等の発令及び情報発信の迅速化に寄与

地域の概要・課題

Lアラートは、地方公共団体等が発出する災害関連情報を多様なメディアを通じて地域住民へ迅速かつ効率的に伝達する共通基盤で、平成31年4月から全都道府県で運用を開始しています。

災害が頻発、激甚化している近年において、災害発生時に住民等が避難行動に必要な情報を迅速かつ確実に入手できる環境の整備が必要となっています。

事業の概要

Lアラートの地図化システムにおいて、気象関係情報や他団体の避難情報の発令状況、過去の発令状況の表示等を可能とし、避難情報の発令の判断からLアラートへの情報発信までの災害対応業務を円滑かつ迅速に行えるよう支援するシステムの実現・導入を推進するため、令和元年度に実証を通じて災害対応支援システムの標準仕様を策定しました。

【見込まれる効果】

地方公共団体による避難指示等の発令からLアラートへの情報発信までの災害対応業務を支援するものであり、地方公共団体によるシステム導入により、住民への災害関連情報伝達の迅速化が見込まれます。

実証でのアンケートでは、全体の95.5%が避難発令支援機能が業務に有効と回答しています。

- 地図等を活用した「避難発令支援機能」が実用化されたら、業務に有効と思うか
- ・有効性があると強く思う 62.7%
 - ・有効性が少しはあると思う 32.8%
 - ・わからない・なんともいえない 4.5%

